

名称 GAW (Global Atmosphere Watch)

日本語名 全球大気観測計画

親機関 WMO

住所 WMO, P.O. Box 2300, CH-1211 Geneva 2

国名 SWITZERLAND

電話 41-22-730-8314

ファックス 41-22-740-1439

1. タイプ：国際モニタリング計画

2. 地理的範囲：世界

3. 目的

WMO-GAWはBAPMoNとGO₃OSの上位計画である。GAWはこれら2つの計画の観測と研究活動を統合化する役割を担っており(EMEP, WMO IM活動と同様)、大気組成の測定を含んでいる。

GAW活動の成果は汚染物質の輸送の変化、温暖化ガスの濃度変化とオゾン層の変化を検出するための早期警戒システムとして働く。現在のGAWネットワークは、196のモニタリング地点からなる。機能は、

- (1) 降雨の化学的組成 (152 地点)
- (2) 大気混濁度を測定 (90のBAPMoNの地点)
- (3) 浮遊粒子状物質 (84地点)
- (4) CO₂ 濃度 (23地点)
- (5) 表面オゾン濃度 (22地点)
- (6) メタン濃度 (7 地点)
- (7) CFC (5地点)

4. データ管理

データは専門技術者により定められた基準に従い、勧告された測定機器を用いて収集され、管理されており、データの質の問題は解決されている。データは種々のデータセンターに蓄積される。これらはCentralized Data Collection Pointsと呼ばれる。

カナダは、世界オゾンデータセンター(WODC:World Ozone Data Center)を運営し、2カ月に1回成果を出版する。NOAA、国立気候データセンター(NCDC: National Climate Data Center)は降水の化学組成分析、酸性雨、大気混濁度情報を、ロシア(旧ソ連)は太陽放射データの収集を担当している。

CSFRとFRGは科学的トレーニング、降雨サンプルの分析を実施する。1990年10月には日本に温暖化の世界データセンター(WDC)が大気ガスについてのデータの蓄積を開始した。

WMO-GAWは他の計画と同様に、BAPMoNとGO₃OSの両方に、フレーム設計、観測・データ評価の活動に相互キャリブレーションデータシステムを提供する。

5. 協力関係

GAWはWMOの全球大気観測システムの統合的機能だけでなく、他の計画と協力してICSUのIGBPと国際全球大気化学(International Global Atmosphere Chemistry)に関するプロジェクトを通してデータと評価結果を受け取るようになる。この情報は、熱帯雨林の劣化、減少と気候変動に関係している対流圏の化学的組成の変化と両極の成層圏オゾンの減少に関連する。

6. 参考文献

HEM, 1990: A Survey of Environmental Monitoring and Information Management Programmes of International Organization.

WMO, 1991: Annual Report 1990, WMO-No.746, 66 p.